

2 かさんの 2023 ENDURO REPORT HTDE(後編)

— 北海道エンデューロ選手権 第6戦(最終戦)の見どころ —



2023 年の MFJ 北海道エンデューロ選手権は、第4戦・第 5 戦を併催していた日高ツーデイズ・エンデューロ (HTDE)が終わり、今週末のルスツ戦が最終戦となりました。

今回のエントリー数は全クラス 43 台で、昨年の 46 台、一昨年の 43 台と比べて、ほぼ同じ出場台数となっています。



MFJ が発表している公認クラスのポイントランキング(暫定)を見ると、前回の日高で行われた HTDE で好成績を収めて一気にポイントを獲得し、最終戦を待たずに昇格を確定させたライダーが NA・NB クラスに見受けられます。

またこれらのクラスでは 2 番手・3 番手以降のライダーが保有する有効ポイントの差が極めて小さいことから、相当気合いの入ったレース展開が予想されています。

このまま順当にレースが終わるのか？

悪天候などでどんでん返しのレースとなるのか？

選手にとっても応援の皆さんにとっても今回の最終戦はとても楽しみなレースとなりそうですね！！

それではいつものように、MFJ のポイントランキング(暫定)をもとに、各選手のこれまでの成績を整理して、最終戦の見所を探ってみたいと思います。



<昇格基準>

まず今年の上級クラスへの昇格枠は、IAが1枠、IBが3枠、NAが6枠となっています。

昇格基準となる獲得ポイントは、全6戦中で上位4戦でのポイントが有効ポイントとして適用されます。

8. 2023年北海道EDシリーズランキング

1)ポイント集計

- IB・NA・NB クラスは全日本選手権併催を含め、5大会6ラウンド中上位4ラウンドを集計する有効ポイント制とする。
- IA クラスについても全日本選手権北海道大会を含む6ラウンド中上位4ラウンドを集計する。
- B・C・Dクラスは全日本選手権併催大会を含まない4大会4ラウンドを集計する。
- 中止により大会数が減った場合、有効ポイントのラウンド数を変更する場合がある。
- 各クラスの競技成立台数は2台以上とする。
- 完走者にもポイントが与えられる。(完走者は6.8)に定義される)
- ポイントスケールは下記のとおりとする。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位
得点	25	20	16	13	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

◎IB クラスの見どころは上位3選手の戦い！！

このクラスの昇格枠は1枠です。

見所は、昇格枠争いを展開している108 菊池選手と134 佐藤選手、154 大友選手の3者の戦いぶりです。



©tsukasan.com

(108 菊池選手)



(134 佐藤選手)



これまでの上位3戦での獲得ポイントで比較すると、菊池選手は 61 ポイント、佐藤選手は 48 ポイント、大友選手は 44 ポイントです。

菊池選手は、現在のところ佐藤選手に 13 ポイント、大友選手に 17 ポイントをリードしており、最終戦で仮に佐藤選手が優勝(25 ポイントゲット)した場合でも、菊池選手は 4 位(13 ポイント)以内に入賞すれば昇格の権利が得られることから、現状ではかなり IA 昇格に近い立場にいると言えます。

果たしてこの 3 者の戦いがルスツでどのように展開されるのかとても楽しみです！！

(←154 大友選手)



◎NA クラスの見どころは次期昇格を狙う齋藤選手と女子ライダー高見選手の戦い！！

IB への昇格枠は 3 枠です。

トップを走る 327 羽田選手は、既に 4 戦で 79 ポイントを獲得し、最終戦を待たずして昇格を決めています。



このクラスでは道内初の女子 IB ライダーの誕生が期待されており、330 高見選手の活躍ぶりが見逃せません。

現在のところ 2 番手には 301 齋藤俊輔選手(3 戦:46 ポイント)、3 番手には 360 逸見選手(2 戦:50 ポイント)、4 番手には女子ライダーの 330 高見選手(3 戦:39 ポイント)、5 番手には荻野鉄平選手(3 戦:33 ポイント)、7 番手には 362 山下選手(3 戦:33 ポイント)がいます。

3 番手の逸見選手は、もともと IB ライダーであり、これまで 2 戦 2 勝と、実力的にもトップの羽田選手以上のものを発揮しているので、順当にいくと昇格枠内に入ることが予想されます。

こうした中で残り1枠の昇格枠を巡って齋藤選手、高見選手、荻野選手、山下選手の 4 人が争うことになります。しかもそれぞれのポイント差は最終戦で巻き返しが効く範囲内です。



(301 齋藤選手↑)



(360 逸見選手↑)



(330 高見選手↑)



レースはその日の天候やマシンの調子、突発的なアクシデントなどで選手の成績が大きく入れ替わることもないとは言えません。

今回の頑張りで年間順位が入れ替わる要素が多分にあるので、最後まで気を抜かずに万全の態勢で戦って欲しいですね。

◎NB クラスは同ポイントの後藤選手と林選手の活躍を期待！！

昇格枠は 6 枠。

このクラスは前回行われた HTDE の結果がポイントランキングに大きく影響しており、これまで第 1 戦、第 2 戦を制した 441 荻野選手が、HTDE で二日間とも優勝し、4戦4勝の 100 ポイント獲得で、最終戦を待たずに早々と NA 昇格を確定させています。

2 番手は 430 兼村選手(4 戦:71 ポイント)、3 番手は 458 安藤選手(3 戦:56 ポイント)となっています。

そのあとに続く道内勢は 404 村上選手(4 戦:45 ポイント)、433 葛西選手(2 戦:29 ポイント)、410 後藤選手(3 戦:25 ポイント)、405 林選手(3 戦:25 ポイント)となっています。





(430(504)兼村選手↑)



(458 安藤選手↑)



(404 村上選手↑)



(433 葛西選手↑)



(410 後藤選手↑)



(405 林選手↑)

村上選手以外の3人が昇格するためには、現在4番手に40ポイント獲得の道外選手がいるため、最終戦で健闘してトータル40ポイント以上としなければなりません。現在の保有ポイントからすると40ポイント以下でも2人は昇格の可能性が高いと思われますが、出来れば3人揃って昇格できると嬉しいですね！！

◎最後に.....

今回の全道選は2023年度を締めくくる最後のレースとなります。

勝負の行方は誰も分かりませんが、参加される選手の皆さんはくれぐれも怪我に気を付けて、最後まで全力で頑張ってくださいと思います。

By 2か

●2かのフォトギャラリー (2023 日高ツーデイズエンデューロ).....

<https://photos.app.goo.gl/ZyftsnHieowV7EMQ7>